



## 衣川台春祭り成功裡に終わる！



お陰様で19日の宵宮も本祭りも好天気に恵まれ、楽しい春の日のひとときを過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。宵宮ではたくさんの夜店も出て、どこも遅くまで盛況でした。本祭りでは子どもたちが2基の神輿を声高々に「ワッショイワッショイ」と言いながら、町内を練り歩いてくれました。ご苦労様でした。

がんばって触れ太鼓をたたいて  
くれました。



仰木の里東小学校  
6年4組大川 祐里佳さん  
「はじめは怖かったけど、  
楽しかったです。」  
6年1組 八田 里帆さん  
「たたいている時、風があ  
って気持ちよかったです。」  
6年4組佐倉 はるかさん  
「練習のせいかがで、上  
手にたたけました。」

## ニュース “堅田駅西口開発事業は今…”

J R 堅田駅西口周辺の総合的な基盤整備のため、平成19年度から本格的な開発工事が行われています、

これに伴い衣川台自治会の北玄関にあたる明神橋の北側まで現在盛土が行われ着々と新道路（本堅田真野線）の建設が進んでいます。

堅田西口土地区画事業では本堅田真野線を南下して来た車両が明神橋交差点で右折し造形大学前、雄琴駅を通り湖西バイパスに抜ける道路および明神橋交差点を左折して国道161号線に出る道路を幹線道路として想定しています、しかし現在の明神橋の通りは道幅が広く誤って直進していく車両が多くなることが予想されます、

開通後は自治会内への交通量の増加と安全確保が懸念されることから、去る4月16日に会長はじめ役員、道路専門委員会メンバー等と堅田駅西口土地区画整理事業の事務所を訪れて、自治会の要望事項（交通標識によるスムーズな幹線道路への誘導等）を先方に伝えるとともに、今後の開発スケジュール等について聞くことが出来ました。

本事業は平成25年度完成を目指して駅西口周辺から順次南へ開発を進めて行きますが、その中で、私たちに最も関心の高い新道路（本堅田真野線）については当面工事車両専用道路として利用し、一般車両の通行開始は2～3年先になるとの説明を受けました。

したがって、自治会が交通による直接の影響を受けるのは2～3年後となる見込みです、

一方将来本堅田真野線はそのまま北上してローズタウンまで伸ばす計画があることや、堅田駅から西方に新道路を伸ばし国道477号線（びわこ大橋途中線）に直結する計画のあることもわかりました、したがって自治会を取り巻く道路状況、車の流れが近い将来に大きく変わるべき性があります、自治会としては将来に禍根を残さないためにも今から区画整理事業所とのパイプを太くしつつ自治会の要望事項の実現の向けて地道に取り組む必要があります。（文責 片岡）

### 豆知識① 衣川天満宮

天満神社は菅原道真が祭神。「東風吹かげにおいよこせよ梅の花 立なし」と「春と忘れるな」菅公社伝によれば天文6年（1537年）に觀音寺城から道真公の靈像を当地に移したといいます。

こここの例祭は五穀豊穣を祈願して、毎年4月の第3日曜日に行われます。中心行事は「渡り式」で、これは祭神の遷宮を模したもの。『大津市史』より

### 編集後記

「衣川台だより」を担当させていただきます10組の山本です。よろしくお願ひします。お知らせすべきことやお知らせしたいことがあればその都度発行したいと考えています。

各担当からのお知らせやお願い、行事の状況報告等のほかに、歴史のこと、子どもや子育てに関するここと、住民の方の願いや思いなども取り入れていきたいと考えています。また情報を提供してください。